

平成29年6月29日

町会、自治会長 様

(公社) 日本水難救済会江戸川区委員長

多 田 正 見

(公 印 省 略)

平成29年度「青い羽根募金」運動への協力について (お願い)

「青い羽根募金」運動につきましては、毎年、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、今年度も、海難事故等における人命救助活動のため、下記のとおり「青い羽根募金」運動を実施いたします。

つきましては、貴町会、自治会におかれましても、募金の趣旨をご理解のうえ、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 募金運動期間 平成29年7月1日(土)から8月31日(木)まで
- 2 募金事業内容 別紙趣意書のとおり
- 3 募金額目安

500世帯未満		1,000円程度
500世帯	～ 999世帯	1,500円程度
1,000世帯	～ 1,499世帯	2,000円程度
1,500世帯	～	2,500円程度
- 4 受付場所 葛西事務所地域サービス係 (葛西事務所1階窓口)
- 5 受付時間 (平日) 午前8時30分から、午後5時まで
受付時間内にお越しいただけない場合は、事前にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

江戸川区葛西事務所地域サービス係

〒134-0083 江戸川区中葛西 3-10-1

電話 3688-0434 (直通)

担当 鳩貝、後藤



青い羽根募金事業趣意書

海で遭難した人々の救助を行うボランティア活動を支援する団体、それが公益社団法人日本水難救済会（マリンレスキュージャパン）です。

明治22年設立以来128年の間に救助した人命は196,592人、救助した船舶は40,020隻を数えています。（平成28年末現在）。

現在、全国津々浦々に設置された合計1,318ヶ所の救難所・支所に所属しているボランティア救助員約5万2千人は、漁業や会社員などの職業を持った方々で、海難救助に向かう時は、身を危険にさらしながら人命救助を行っています。

公益社団法人日本水難救済会はこのようなボランティアを支援して、海の犠牲者ゼロを目指して活動をしている団体です。

海難救助は、厳しい条件の中で行われるため、安全かつ迅速な救助活動を行うことができるよう救助員は、常日頃から組織的な訓練を行うとともに、ライフジャケット、ロープ等の救助資機材の整備も必要です。さらに、救助船の燃料等も必要となります。

このため日本水難救済会は、その活動資金を確保するため毎年、青い羽根募金活動を行い、広く国民の皆様からのご寄附をお願いしております。

いただいた寄附金は部外の有識者にも参画いただいている運営協議会の審議を経て、計画的かつ有意義に活用されています。

青い羽根募金活動は周年行われていますが、本年も7月17日「海の日」を中心に7、8月を強調運動期間として全国的に募金活動を展開いたします。

海の犠牲者の皆無を目指して活動している公益社団法人日本水難救済会の事業に深いご理解とご支援をお願い致します。

なお、公益社団法人日本水難救済会は、所得税法及び法人税法に基づく「特定公益増進法人」であることから、青い羽根募金は、個人では所得控除又は寄附金特別控除（税額控除）が、また、法人では損金算入が認められます。



青い羽根 生命を守るその一本

公益社団法人 日本水難救済会

会長 相 原

